



南 真介

いすゞ自動車株式会社

代表取締役 取締役社長 COO

ご祝辞

この度、中東協力センター (JCCME) 様が設立 50 周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

貴所は、長年に渡り、中東及び北アフリカ (MENA) 諸国と日本を繋ぐ架け橋としてご活躍され、世界の経済発展において多大なる貢献を果たして来られました。改めてこの 50 年間に振り返りますと、石油ショックや湾岸戦争、アラブの春、新型コロナウイルスの蔓延、ロシアによるウクライナ侵攻等により国際情勢が大きく変化した、まさに激動の半世紀でありました。幾多の変化や難局に直面しながらも、MENA 諸国と日本企業間の良好な関係構築、及び経済発展を導いてこられたのは、ひとえに、貴所の歴代役員ならびに関係者の皆様のご尽力の賜物であり、感謝を申し上げますと共に、心から敬意を表したいと存じます。

いすゞ自動車は、多くの関係者の皆様に支えられながら、これまで、MENA 諸国を含む世界中のさまざまな地域において、商用車メーカーとして事業活動を展開して参りました。多岐にわたる活動の中でも、特に思い出深い経験の一つが、サウジアラビアでの工場設立です。2012 年 12 月 12 日、弊社は日本の自動車産業として初めて、サウジアラビアで自動車工場 (Isuzu Motors Saudi Arabia Company : IMSAC) を操業致しました。砂漠の砂地での、ゼロからの会社開設、工場建設は、弊社にとっては未知への挑戦であり、分からないことばかりの状態からの始まりでした。幾度にも渡るサウジアラビア政府との交渉等、弊社のみだけでは乗り越える事が難しい試練も多くございましたが、その度に貴所の皆様には、多大なるサポートを賜りました。皆様の温かいご支援の元、操業開始に至った IMSAC は、昨年 12 月をもって、会社操業開始 10 周年を迎える事が出来ました。お陰様で、立ち上げ当時は、従業員総勢約 70 名、中型トラックの生産約 7 百台から始まった工場が、現在では、従業員が約 170 名まで増え、中型トラックだけでなく小型トラックも生産ラインアップに加わり、年間約 1 万台を生産するまで、大きく成長致しました。累計生産台数も 3 万台を超え、設立以来、弊社の商品を通してサウジアラビアの産業、経済の発展に大きく貢献できたことを大変嬉しく存じます。今後とも、皆様から賜りましたご支援に対する感謝の想いを胸に、安全、品質への徹底を第一として、成長著しいサウジアラビア市場のニーズにお応えできるよう、精一杯尽力して参ります。

現在、世界を取り巻く環境は日々目まぐるしく変化しており、自動車業界としても、「100 年に一度」と言われる大変革期を迎えております。この様な、将来を予測することが難しい時代の中で、世界中のあらゆる変化にスピードを持って対応し、幅広い範囲で社会課題解決への貢献を続けることが、弊社に求められている役割であると認識しており、その役割を果たす上で、貴所や多くのステークホルダーの方々との、より一層強い連携と協力が不可欠と信じております。今後とも、皆様との想いを一つに歩んで参りたく、お力添えを賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、中東協力センター様の益々のご発展とご繁栄、ならびに関係者の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念致しまして、お祝いの言葉といたします。

